

2014年度（2015年3月期）
第2四半期 決算説明会

2014年11月12日

1. 決算の概況
2. 決算説明
3. 2014年度の見通し

1. 決算の概況

	(億円)	2013年度 上期実績	前回(8/12) 予想	2014年度 上期実績	増減	
					対前期実績	対前回予想
売上高		1,465	1,400	1,379	△86	△20
営業利益		86	60	75	△11	+15
%		5.9%	4.2%	5.5%	△0.4%	+1.2%
経常利益		67	45	77	+9	+32
%		4.6%	3.2%	5.6%	+1.0%	+2.4%
当期利益		96	100	132	+36	+32
換算 レート	USD	98.8	100.0	103.0	+4.2	+3.0
	EUR	129.9	135.0	138.9	+9.0	+3.9

2014年度 上期

◆ ウォッチ事業

- 国内では高価格帯を中心に消費増税の影響が見られたが、9月に第2世代モデルを発売したアストロンやメカニカル、ルキアなどが牽引し、前年を上回る売上となった。



アストロン SBXB001

- 海外でもアストロンの第2世代モデルが好調にスタートした。
8月にはニューヨーク・マディソンアベニューにセイコーブティックをオープン。
北米やドイツ、台湾などで売上を伸ばした。

2014年度 上期

◆ 電子デバイス事業

前期から引続きスマートフォン向け半導体が好調。車載向製品とともに売上を伸ばした。一方、カメラ用シャッターとハードディスク部品は厳しい状況が続いている。

◆ システムソリューション事業

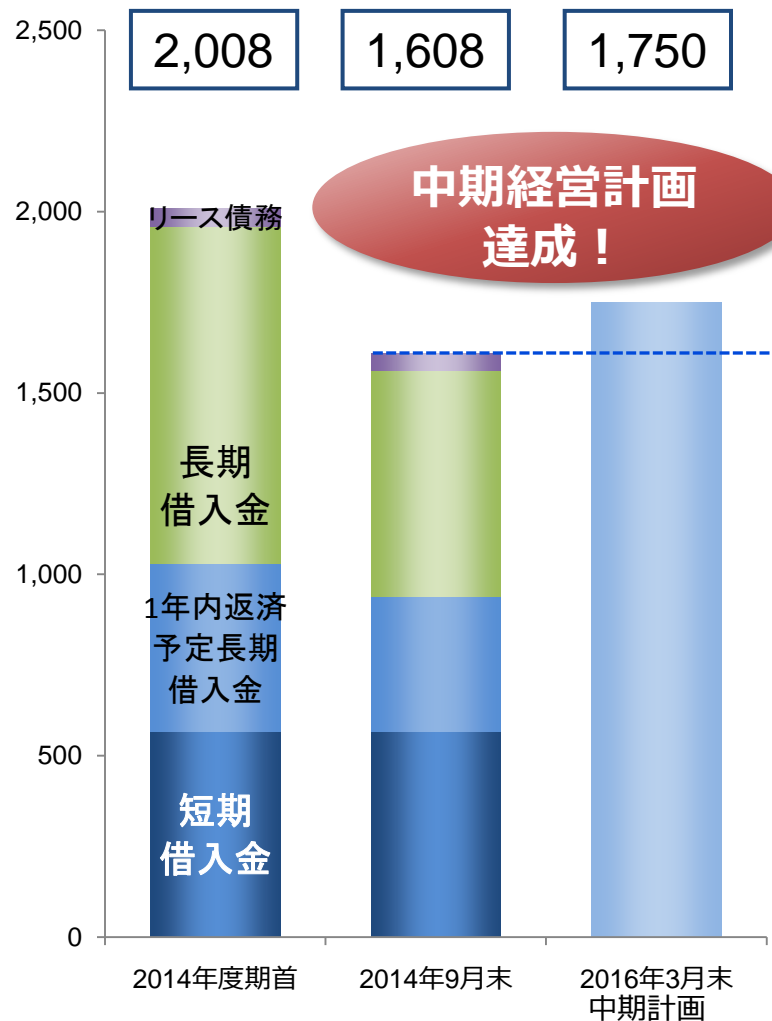
7月にセイコーインスツル(株)のシステムアプリケーション事業をセイコーソリューションズ(株)に統合し、ビジネス強化に向け新たな体制を整えた。

財務体質の改善

◆ 有利子負債の削減

2014年9月に行った固定資産売却等により、有利子負債を大幅削減。

(億円)	2014年 3月末	2014年 9月末
有利子負債	2,008	1,608
ネットデット	1,578	1,073
ネットD/E レシオ	2.4	1.2



2014年度 下期に向けて

◆ ウォッチ事業

- 国内、海外ともにアストロン、グランドセイコーのさらなる売上拡大を目指す。
- メカニカルウォッチの一層の強化。

◆ 電子デバイス事業

- 好調なスマートフォン向けの半導体ビジネスを持続。

◆ システムソリューション事業

- 国内では円安が進みさらに厳しい環境となることが予想される中、海外ビジネス拡大への取組みを推進。

(億円)	13年度 実績	前回 (8/12) 予想	今回 予想	対前回予想 増減
売上高	3,082	2,900	2,900	±0
営業利益	140	160	160	±0
%	4.5%	5.5%	5.5%	±0.0%
経常利益	101	130	140	+10
%	3.3%	4.5%	4.8%	+0.3%
当期利益	74	170	180	+10

見通し レート	USD	100.2	100.0	100.0	±0.0
	EUR	134.3	135.0	135.0	±0.0

2014年度ジュネーブ時計グランプリ 「プティット・エギュイユ」部門賞受賞

グランドセイコーのメカニカルハイビート36000GMT限定モデルが、10月31日、メイドインジャパンのメカニカルウォッチとして初めてジュネーブ時計グランプリで「プティット・エギュイユ」部門賞を受賞。



グランテアトルでの授賞式の様子



2014年度「卓越した技能者（現代の名工）」受賞

グランドセイコーを中心にデザイン開発を行っているウオッチデザイナー・小杉修弘が、工業製品の意匠を手掛けるプロダクトデザイナーとしては初めて「卓越した技能者（現代の名工）」を受賞。



「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞したグランドセイコー（SBGR051）

PR活動の強化とブランド投資の継続

- ◆ SEIKOブランドの価値向上に向けた、積極的な広告宣伝投資の推進。



グランドセイコー、アストロン
屋外看板（銀座四丁目）



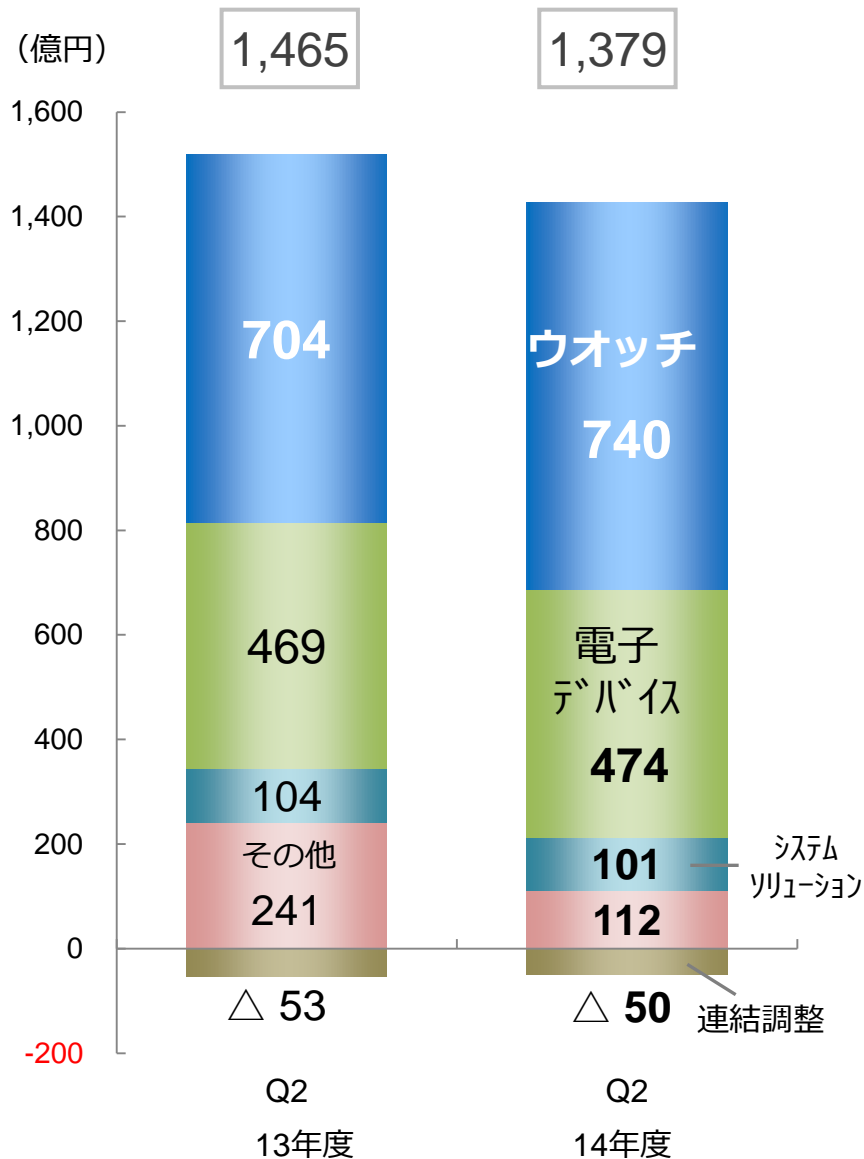
スポーツ協賛
（セイコーゴールデングランプリ陸上）

2. 決算説明

2014年度 損益 – 第2四半期 (累計 4月-9月) –

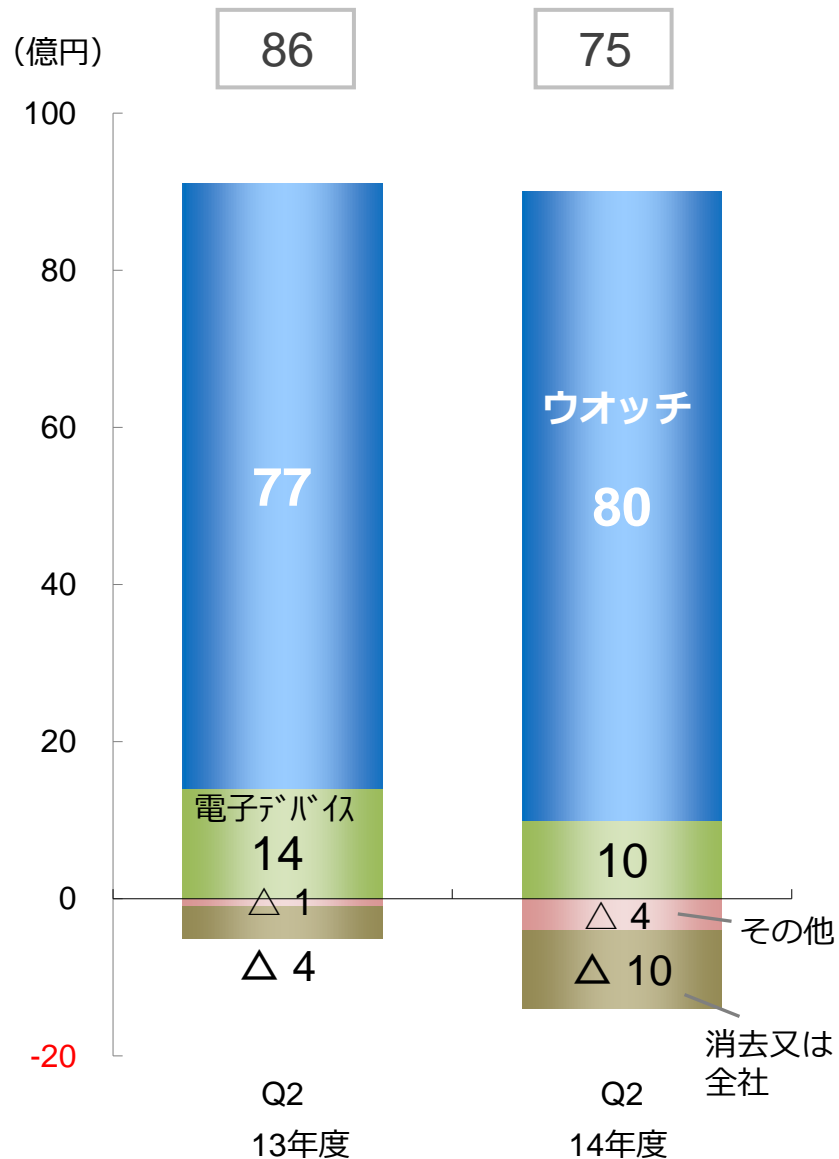
(億円)	13年度 Q2(累計)	14年度 Q2(累計)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	1,465	1,379	△86	△5.9%	売上高： 対前年 △86 為替による影響 約+30 眼鏡事業 持分法会社化の影響 △122	
売上総利益	499	491	△7	△1.5%	営業利益： 対前年 △11	
営業利益	86	75	△11	△12.8%	売上総利益減少 △7 経費増加(広告宣伝費等) △3	
%	5.9%	5.5%	△0.4%	—	経常利益： 対前年 +9	
経常利益	67	77	+9	+14.1%	営業利益減少 △11 支払利息減少 +3 為替差損益改善 +4 持分法投資損益 +6 その他営業外損益 +5	
%	4.6%	5.6%	+1.0%	—		
税前利益	117	155	+38	+32.4%		
当期利益	96	132	+36	+37.9%		
%	6.6%	9.6%	+3.0%	—		
換算 レート	USD	98.8	103.0	+4.2	+4.3%	特別損益内容： +78
	EUR	129.9	138.9	+9.0	+6.9%	特別利益 84 固定資産売却益 84
						特別損失 △ 5 事業撤退損 △ 5

事業別売上高 - 第2四半期 (累計 4月-9月) -



(億円)	売上高		
	13年度 Q2(累計)	14年度 Q2(累計)	増減
ウオッチ事業	704	740	+35
電子デバイス事業	469	474	+5
システムソリューション事業	104	101	△2
計	1,277	1,316	+39
その他	241	112	△128
消去又は全社	△53	△50	+3
連結計	1,465	1,379	△86

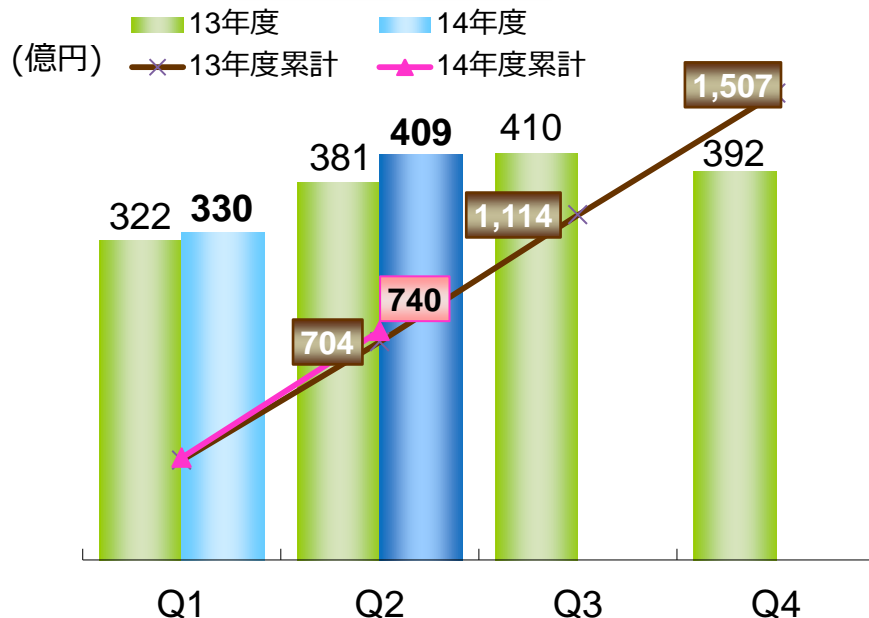
事業別営業利益 – 第2四半期（累計 4月-9月） –



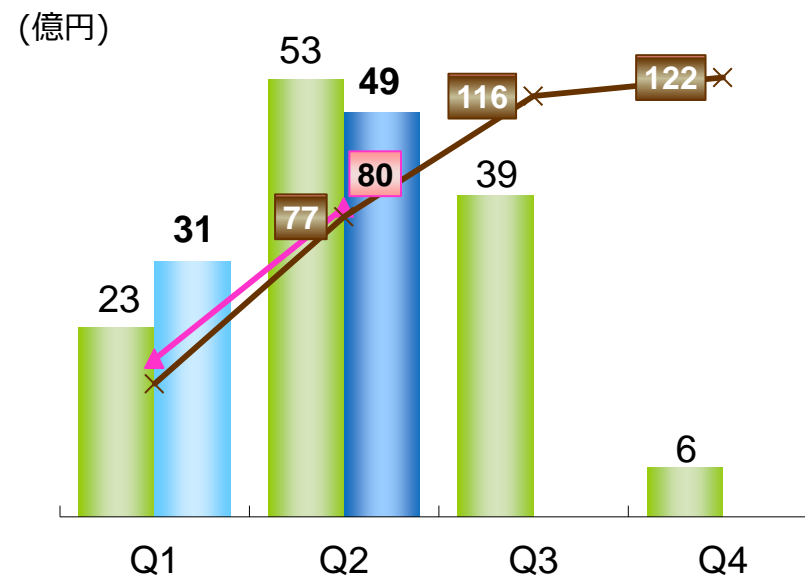
(億円)	営業利益		
	13年度 Q2(累計)	14年度 Q2(累計)	増減
ウオッチ事業	77	80	+3
電子デバイス事業	14	10	△4
システムソリューション事業	0	△0	△1
計	92	89	△2
その他	△1	△4	△2
消去又は全社	△4	△10	△5
連結計	86	75	△11

セグメント情報

売上高

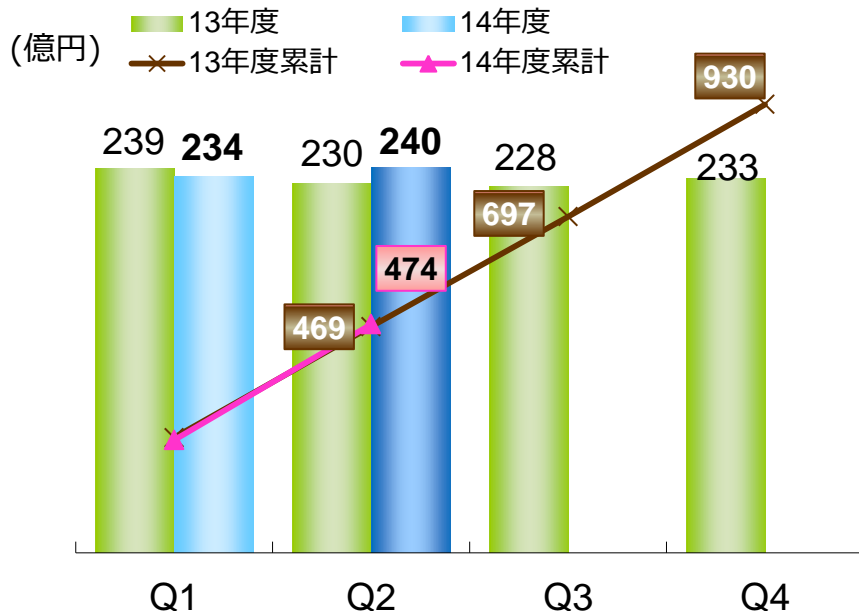


営業利益

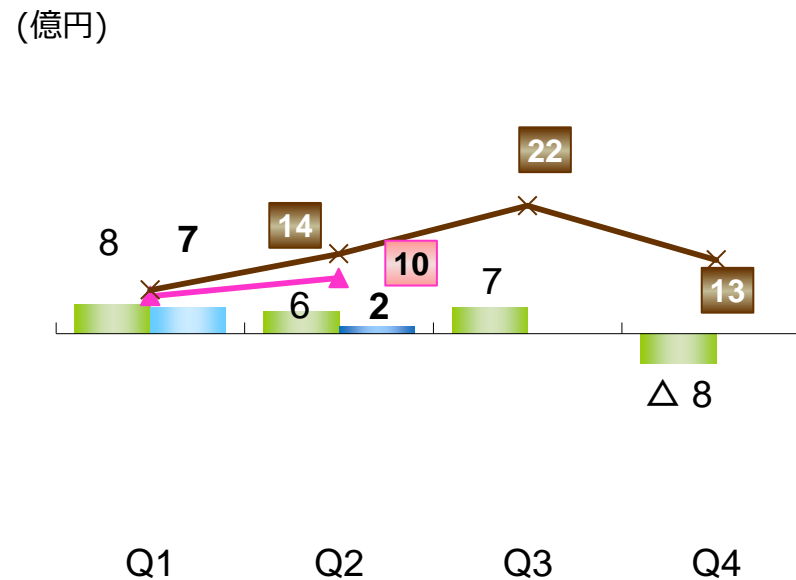


- ・ 完成品ウォッチ： メンズでは9月に第2世代の発売を開始したアストロンやメカニカルが、(国内) レディースではルキア、ティセが売上を伸ばし前年を上回る結果となった。
- ・ 完成品ウォッチ： 海外でもアストロンの第2世代が好調なスタートを切った。(海外) 米国は8月にセイコーブティックのオープンもあり、売上を伸ばした。欧州ではドイツ、フランスなどが堅調に推移した。アジアでは引き続き台湾が順調に売上を伸ばしている。
- ・ ムーブメント： 標準品は伸び悩んだが、高付加価値ムーブメントが堅調に推移した。

売上高

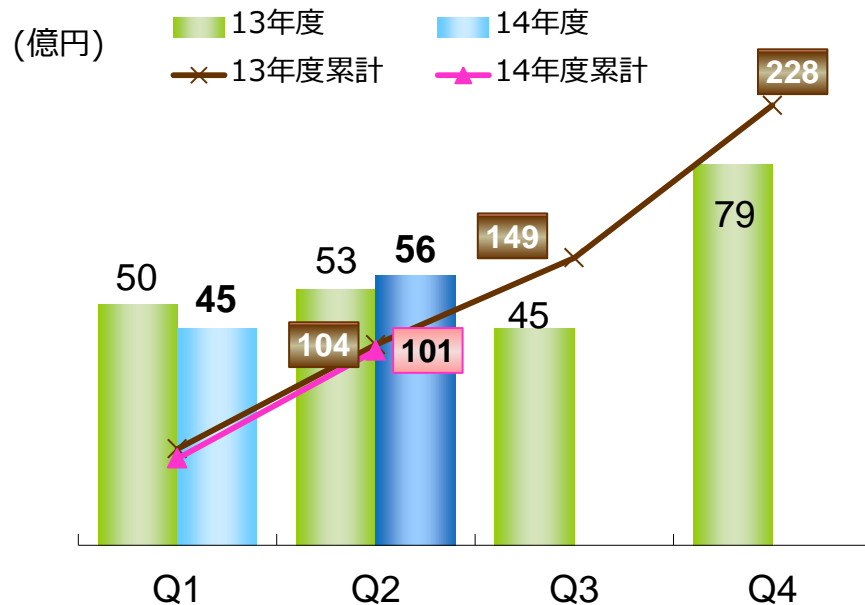


営業利益

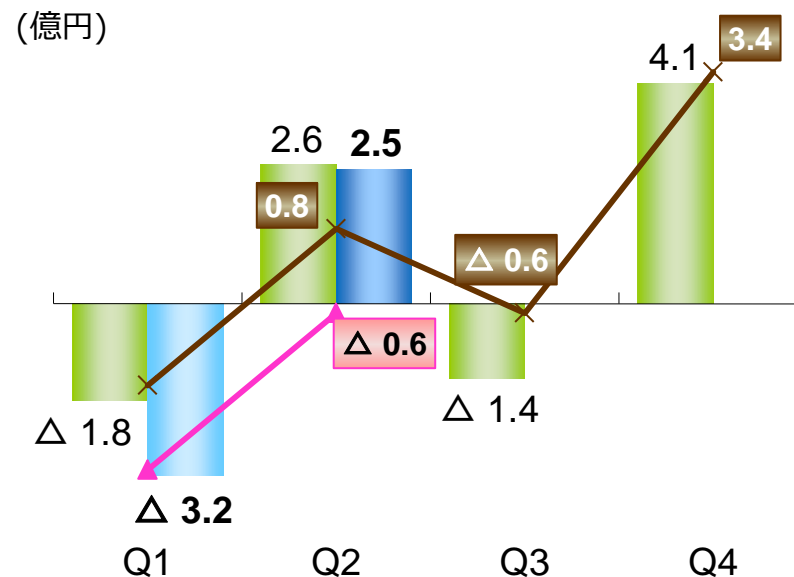


- デバイス** : 半導体は車載向け製品やスマートフォン向け製品が引続き好調に推移し、売上を伸ばした。
- メカトロニクス** : ハードディスクコンポーネントは第2四半期から徐々に回復してきたが、本格的な改善は見られず、カメラシャッタとともに低迷が続いている。
- その他** : プリンタ関連では大型デジタルプリンタが苦戦したものの、その他は堅調に推移した。

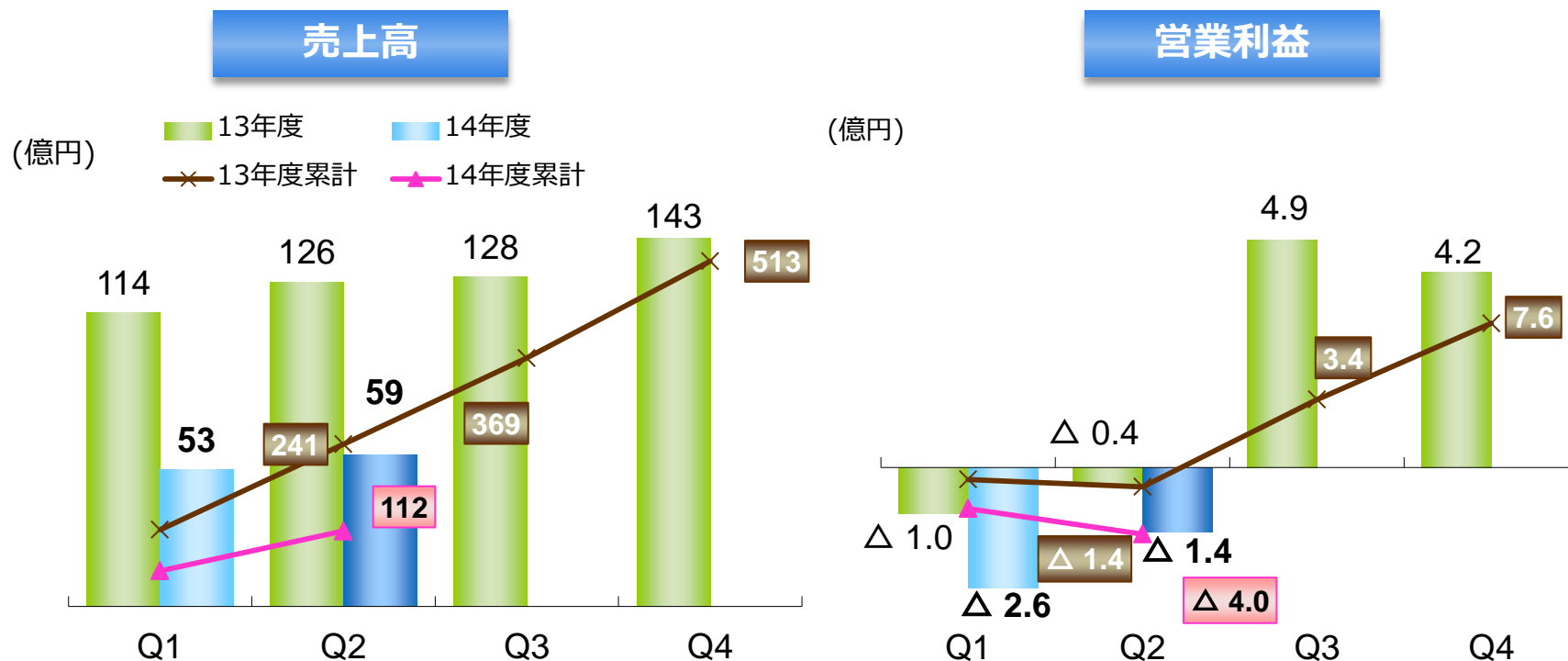
売上高



営業利益



- ・モバイル関連では前期第4四半期に発売した体組成計が今期に入っても好調に売上を伸ばした。
- ・ネットワーク機器、オーダーエントリーシステムは堅調に推移した。
- ・決済端末関連商品は一部下期への期ずれなどがあり、上期の売上高が伸び悩んだ。



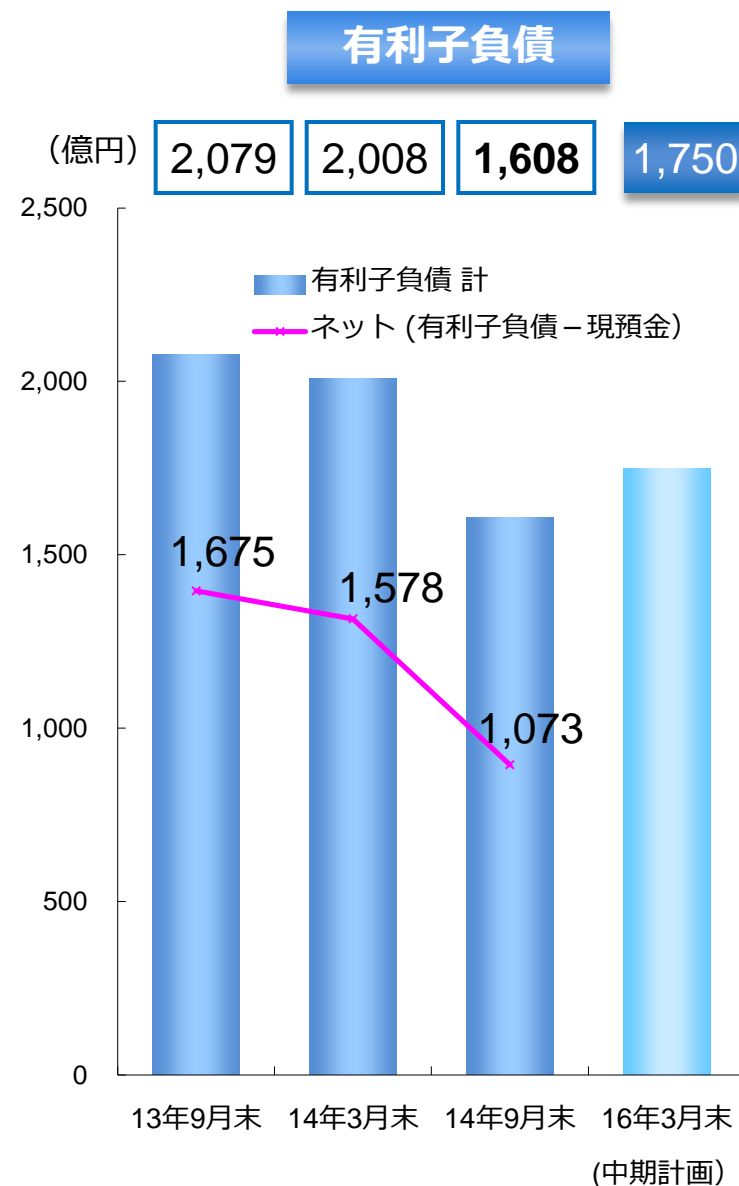
- ・ クロック：売上高はほぼ前年並みに推移したが、収益面では改善が進んでいる。
- ・ その他：第1四半期は消費増税の影響により宝飾等の高額品を中心に売上が伸び悩んだ和光だが、夏以降、徐々に回復し、第2四半期は前年を上回る売上高となった。

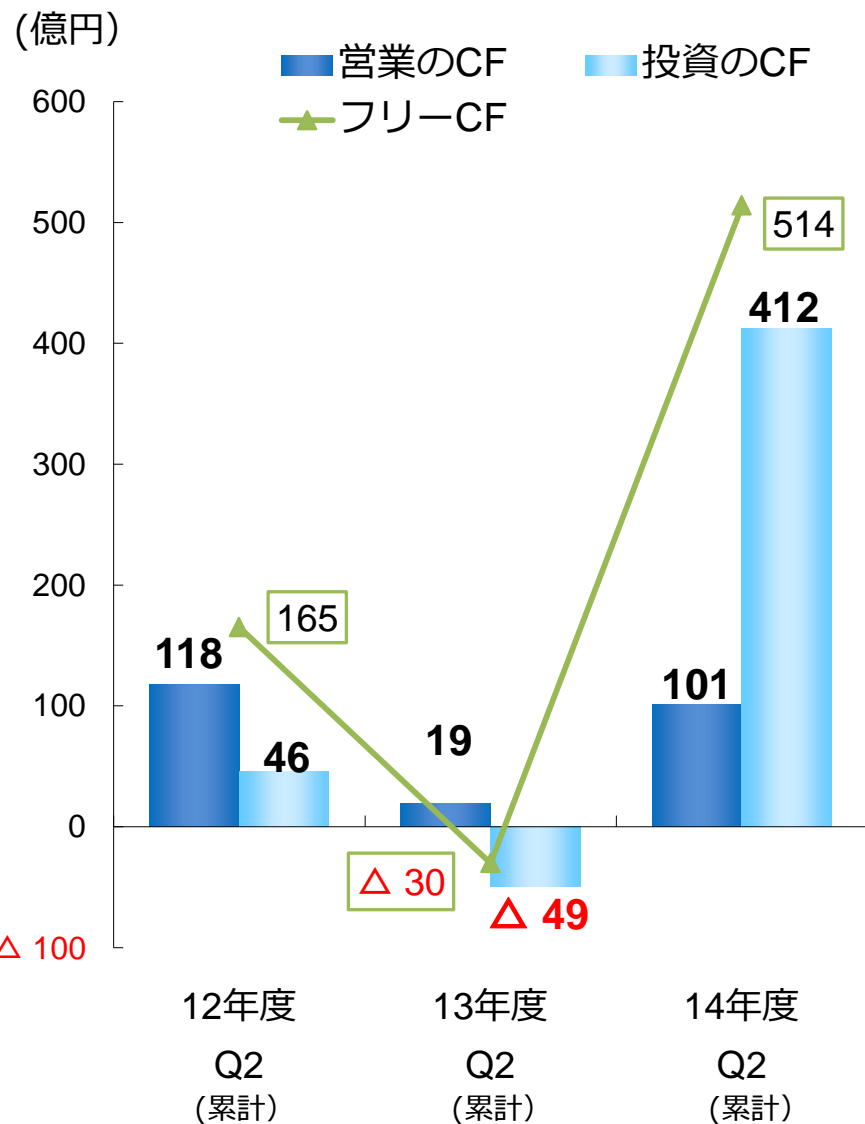
* 眼鏡事業の連結除外による影響額

売上高	Q2期間)	63億円	上期)	122億円
営業利益	Q2期間)	2.2億円	上期)	3.3億円

2014年9月末 貸借対照表

(億円)	2013年 9月末	2014年 3月末 (a)	2014年 9月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	659	570	643	+73
有利子負債	2,079	2,008	1,608	△400
純資産	574	647	886	+239
総資産	3,649	3,667	3,605	△61
自己資本比率	15.1%	17.1%	24.0%	+6.9%
ネットD/E レシオ	2.9	2.4	1.2	△1.2
従業員数	14,349	13,439	13,515	+76





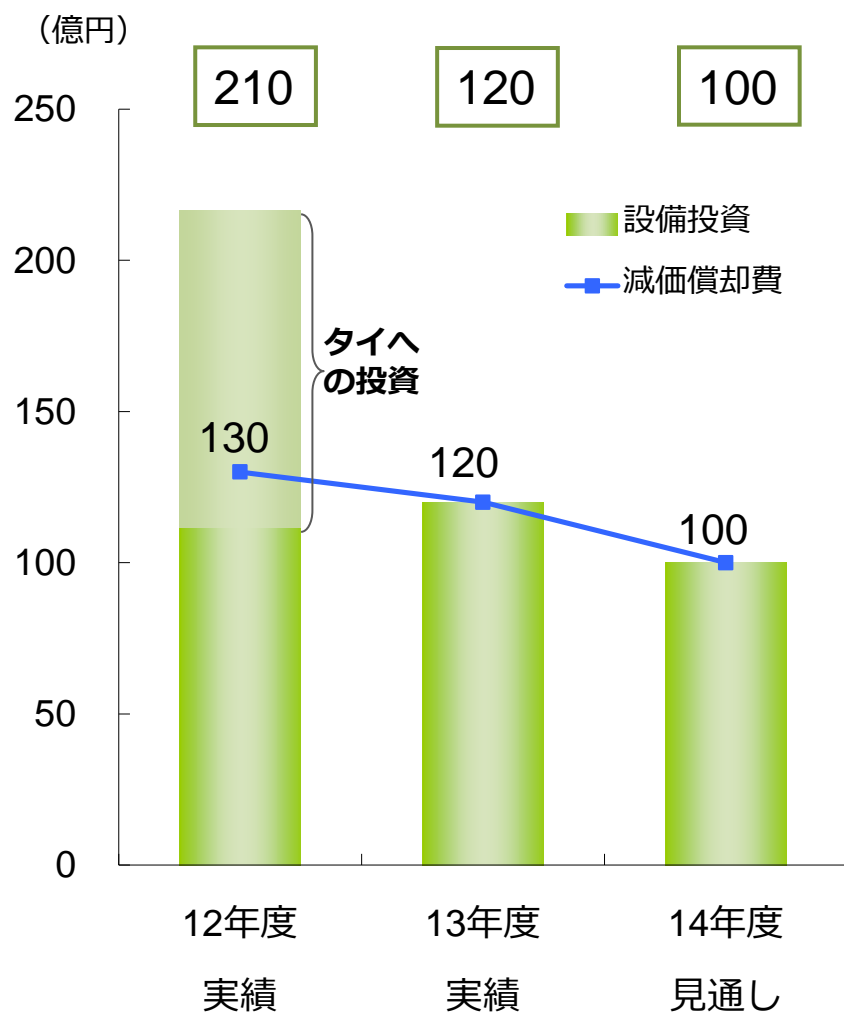
	12年度 Q2累計	13年度 Q2累計	14年度 Q2累計
税引前当期純利益	11	117	155
減価償却費	62	59	53
その他	44	△157	△ 107
営業のキャッシュフロー	118	19	101
有形固定資産の取得	△77	△66	△ 40
その他	123	16	453
投資のキャッシュフロー	46	△ 49	412
借入金の借入・返済収支	△153	33	△ 400
その他	21	△8	△ 16
財務のキャッシュフロー	△ 132	24	△ 417
換算差額等	△5	△19	8
現金及び現金同等物	540	402	531
フリーキャッシュフロー	165	△ 30	514

3. 2014年度の見通し

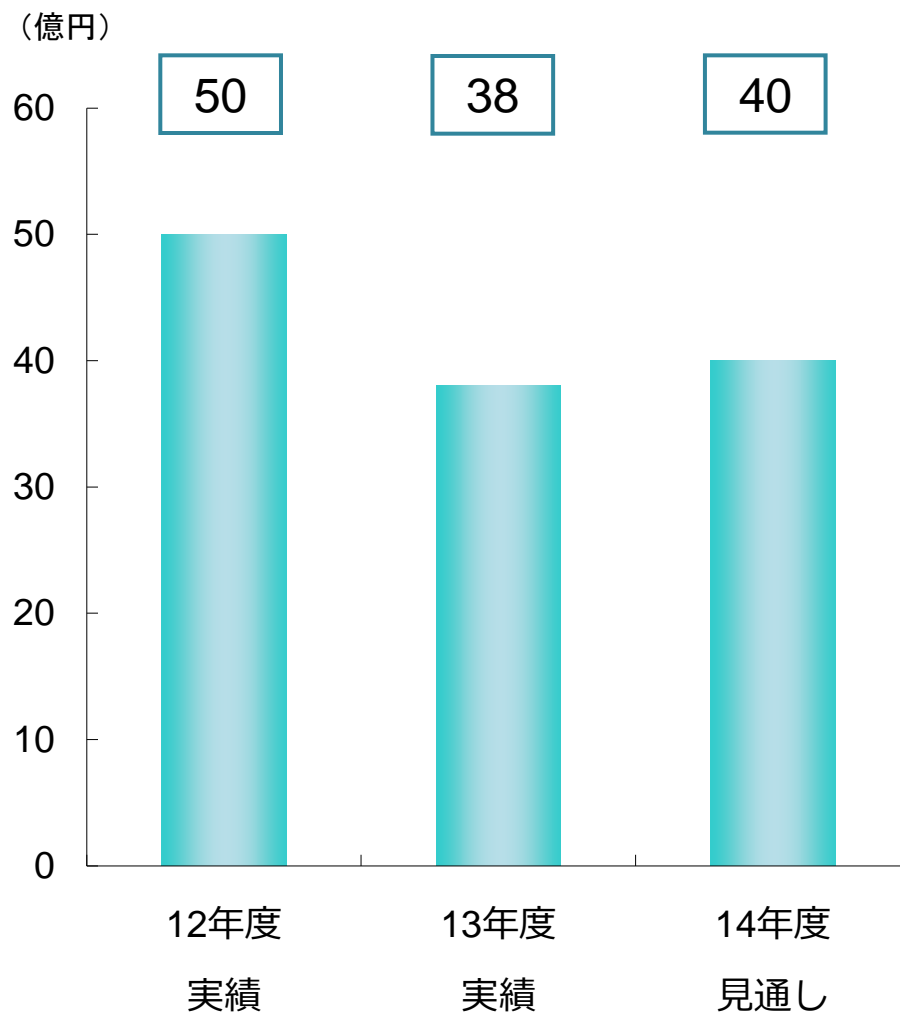
(億円)	13年度 実績	前回見通し (8/12)		今回見通し (11/11)		対前回増減	
		上期	通期	上期 (実績)	通期	上期	通期
売上高	3,082	1,400	2,900	1,379	2,900	△20	±0
営業利益	140	60	160	75	160	+15	±0
%	4.5%	4.3%	5.5%	5.5%	5.5%	+1.2%	±0.0%
経常利益	101	45	130	77	140	+32	+10
%	3.3%	3.2%	4.5%	5.6%	4.8%	+2.4%	+0.3%
当期利益	74	100	170	132	180	+32	+10
%	2.4%	7.1%	5.9%	9.6%	6.2%	+2.5%	+0.3%

(億円)	売上高				営業利益			
	13年度 (実績)	14年度見通し		対前回 増減	13年度 (実績)	14年度見通し		対前回 増減
		前回 (8/12)	今回 (11/11)			前回 (8/12)	今回 (11/11)	
ウォッチ	1,507	1,500	1,550	+50	122	120	125	+5
電子デバイス	930	1,000	1,000	±0	13	40	40	±0
システムソリューション	228	250	200	△50	3	10	5	△5
計	2,666	2,750	2,750	±0	139	170	170	±0
その他	513	250	250	±0	7	5	5	±0
連結計	3,082	2,900	2,900	±0	140	160	160	±0

設備投資・減価償却費



研究開発費



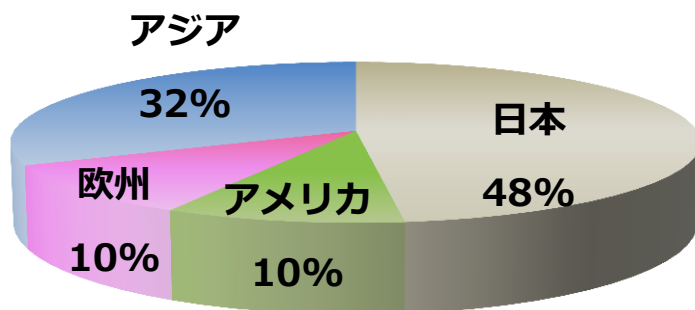
2014年度 見込期間為替感応度 (6か月分)

	USD	EUR
見込レート	100.0円	135.0円
売上高	約8億円	約0.5億円
営業利益	約1億円	約0.3億円

2014年度

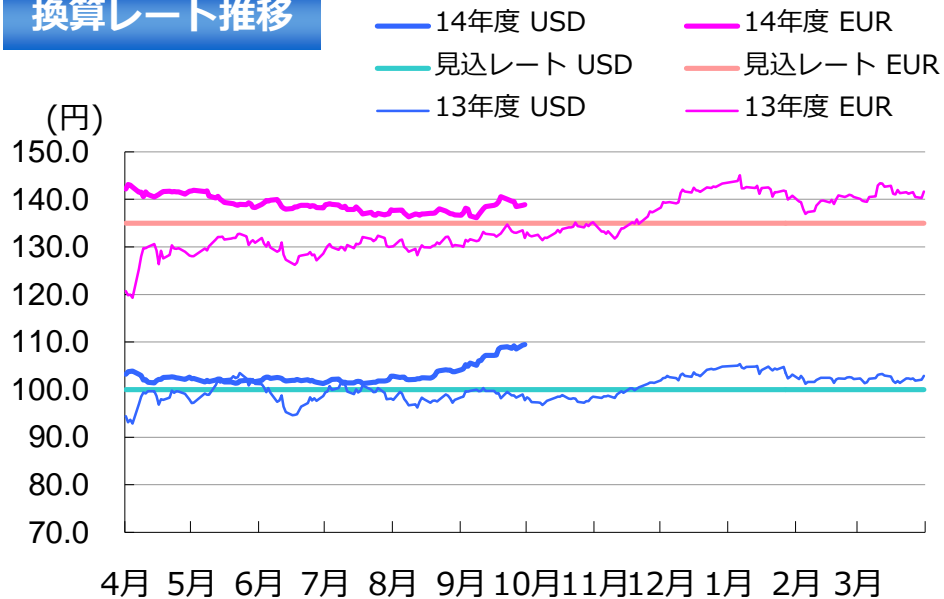
		Q1	Q2	見込レート
平均レート	USD	102.1	103.8	100.0
	EUR	140.0	137.7	135.0
決算日レート	USD	101.3	109.4	100.0
	EUR	138.2	138.8	135.0

地域別売上高比率



* 2013年度実績値

換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

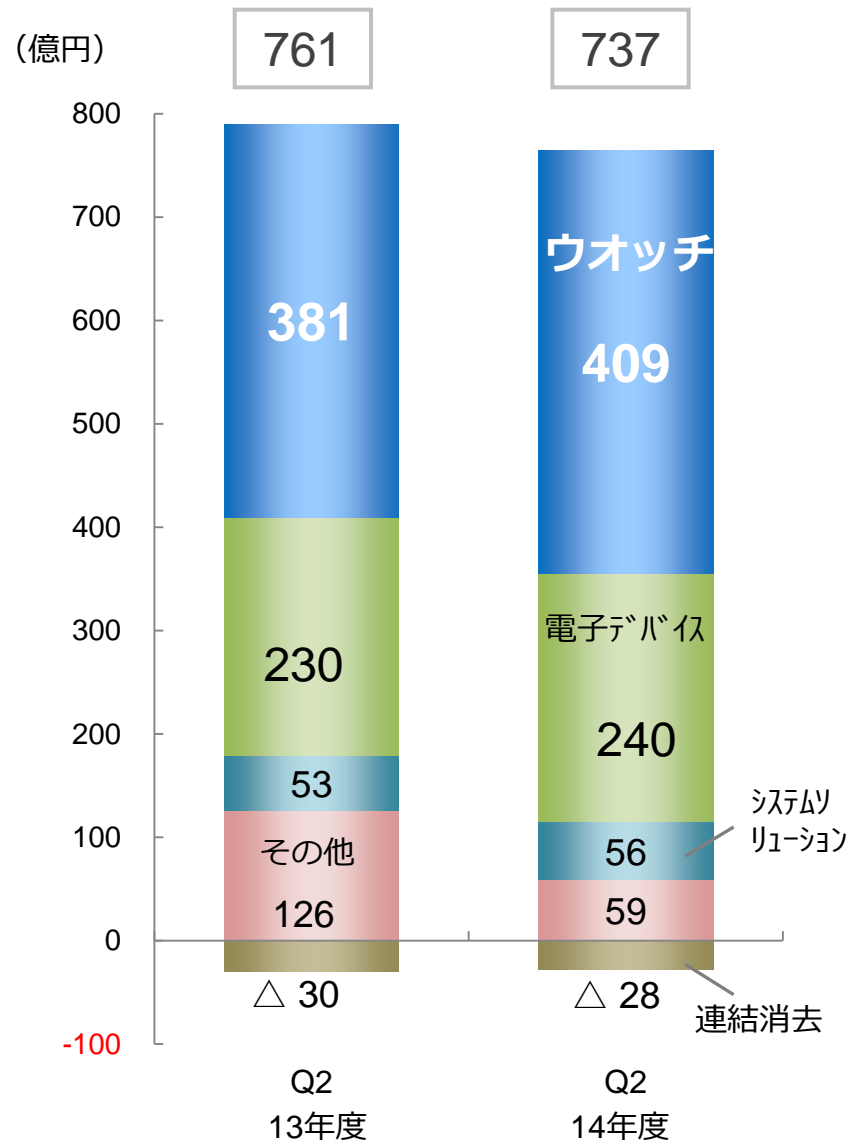
本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

参考

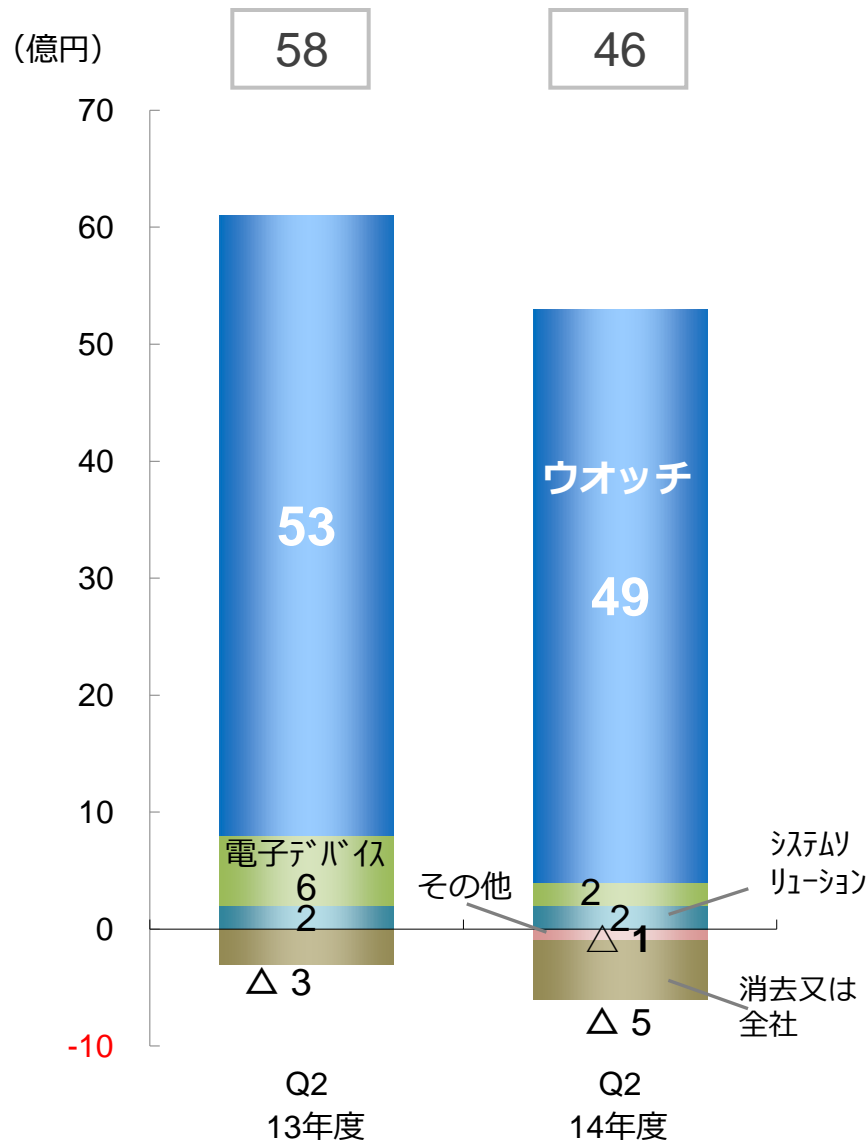
(億円)	13年度 Q2	14年度 Q2	増減			
			増減額	増減比		
売上高	761	737	△24	△3.2%	売上高： 対前年 △24 為替による影響 約+20 眼鏡事業 持分法会社化の影響 △63	
売上総利益	266	264	△1	△0.6%		
営業利益	58	46	△11	△19.2%	営業利益： 対前年 △11 売上総利益減少 △1 経費増加(広告宣伝費等) △9	
%	7.6%	6.4%	△1.3%	—		
経常利益	38	53	+14	+38.9%	経常利益： 対前年 +14 営業利益減少 △11 支払利息減少 + 1 持分法投資損益 + 7 為替差損益改善 +12 その他営業外費用増加 + 4	
%	5.1%	7.3%	+2.2%	—		
税前利益	86	131	+45	+53.4%		
当期利益	61	123	+61	+100.0%	特別損益内容： +78 特別利益 84 固定資産売却益 84 特別損失 △ 5 事業撤退損 △ 5	
%	8.1%	16.7%	+8.6%	—		
換算 レート	USD	98.9	103.8	+4.9	+5.0%	
	EUR	131.0	137.7	+6.7	+5.1%	

事業別売上高 - 第2四半期 (期間 7月-9月) -



(億円)	売上高		
	13年度 Q2	14年度 Q2	増減
ウオッチ事業	381	409	+27
電子デバイス事業	230	240	+10
システムソリューション事業	53	56	+2
計	665	706	+41
その他	126	59	△67
消去又は全社	△30	△28	+1
連結計	761	737	△24

事業別営業利益 – 第2四半期（期間 7月-9月） –



(億円)	営業利益		
	13年度 Q2	14年度 Q2	増減
ウォッチ事業	53	49	△4
電子デバイス事業	6	2	△3
システムソリューション事業	2	2	△0
計	62	53	△8
その他	△0	△1	△0
消去又は全社	△3	△5	△1
連結計	58	46	△11

End
